

# 仙台商工会議所

# 東日本大震災から 5年の歩み

東日本大震災から5年を迎えます。今号では、仙台商工会議所が日本商工会議所、全国514商工会議所と連携し、会員事業所の皆さまとともに取り組んできた、復旧・復興に向けた歩みを振り返ります。



仙台商工会議所 会頭  
**鎌田 宏**

この5年を振り返りますと、震災直後は、まず会員事業所の安否確認を最優先に、事業再開・継続には何が必要かという会員の皆さまへのヒアリング、そして被災地の早期復旧に向けた要望活動を実施するところからスタートしました。

重ねて、全国各地の商工会議所からは大変多くの人的・物的支援をいただき、被災企業の事業再開を後押しする「遊休機械無償マッチング支援プロジェクト」など各種事業におきましても、多大なるご協力をいただきました。全国514商工会議所の強固なネットワークを目的の当たりにし、深い感謝の気持ちを抱きつつ、「二日

も早い復興を果たすことが、こうした支援に対する一番の恩返し」と、復興への決意を新たにすることが思い起こされます。一方この先に目を向けますと、北海道新幹線開業(3月)、G7仙台財務大臣、中央銀行総裁会議(5月)、仙台空港民営化(7月)など東北全体にまたがる大きなプロジェクトを控え、仙台市にとりましては、東北のリーダーとして復興をけん引し、東北全体を活性化させていくことがますます重要になってまいります。

こうした状況のもと、仙台商工会議所では、販路回復・開拓、風評払拭・風化防止などの復興関連事業、経済の成長エンジンである地域企業の経営力強化、インバウンドをはじめとする交流人口の拡大など、復興の先を見据えた取り組みを、引き続き力強く展開してまいります。会員事業所の皆さまにおかれましては、これからも、仙台・宮城・東北のさらなる飛躍に向けて、ともに歩みを進めてまいります。



⑦伊達な商談会

⑥「今こそ東北へ」タブロイド版

⑨東北復興祭りパレードinミラノ万博(2015年7月)

⑧東北復興水産加工品展示商談会2015(2015年6月)

①震災直後の会員安否確認(2011年3月)

②仙台で開催された第1回東北六魂祭(2011年7月)

④震災復興会員総決起大会(2011年10月)

③遊休機械無償マッチング支援プロジェクト

⑤自民党・安倍総裁に復興の加速化要望(2012年12月)

日付	主な動き
2011年(平成23年) 3月11日	仙台商工会議所の主な動き ※一部、東北六県および宮城県商工会議所連合会(当所事務局)の動きも含む <b>東日本大震災発生</b>
2011年(平成23年) 3月14日	「緊急経営相談窓口」を商工会議所内に設置
2011年(平成23年) 3月18日	中小企業支援合同相談窓口(アエル)の設置(仙台市他と合同)
2011年(平成23年) 3月23日	宮城県知事、仙台市長への緊急要望。以降、国・県・市、他関係機関等へ随時要望を実施。
2011年(平成23年) 4月5日	現地緊急経営相談所(卸町)の設置
2011年(平成23年) 4月28日	日本商工会議所から職員派遣受け入れ(6月10日)
2011年(平成23年) 4月28日	全国商工会議所から経営指導員派遣(第1陣)受け入れ。以降、合計4回36人を受け入れ、この時の派遣指導員の事業所巡回が、後の遊休機械無償マッチング支援プロジェクトのきっかけに。
2011年(平成23年) 6月9日	日本商工会議所議員総会において鎌田会頭が仙台七夕まつりの実施と過度の自粛の見直し、東北産品製品の購入を呼びかけ、暗い自粛ムードの払拭に尽力。東北各地のまつりもこれに呼応し続々開催。
2011年(平成23年) 6月28日	大分商工会議所から遊休工作機械が到着 名古屋からの遊休機械贈呈式実施
2011年(平成23年) 7月16日	以降、現在に至るまで3266件のマッチングを成立させ被災事業所を強力にバックアップ。 第一回東北六魂祭が仙台で開催(17日)【写真②】
2011年(平成23年) 7月21日	ここから、毎年東北各県で開催し、今年の青森開催で一巡。
2011年(平成23年) 9月5日	遊休機械無償マッチング支援プロジェクトが正式に発足【写真③】
2011年(平成23年) 10月24日	仙台市によるマル経融資震災対応特枠の3年間利子補給が開始
2011年(平成23年) 10月28日	震災復興会員総決起大会を開催(650人参加)【写真④】
2012年(平成24年) 8月	宮城県連「みやぎ元気」をありがとうキャンペーン実施(全国からの支援に感謝を込めて宮城の特産品を抽選でプレゼント)
2012年(平成24年) 12月	自民党・安倍総裁に対して、鎌田会頭が日本商工会議所の副会頭の立場で復興の加速化を強力に要望【写真⑤】
2013年(平成25年) 3月	視察・訪問回誘致促進パンフレット「今こそ！東北へ」制作。 タブロイド判カラー4頁7万部、東北六県周遊ガイドA4フルカラー58頁3万部【写真⑥】
2013年(平成25年) 4月	販路回復・開拓支援事業「伊達な商談会」スタート。仙台に限らず沿岸部を中心に東北各地でも実施。これまでの成約率は17%超。商談継続率も約40%【写真⑦】
2013年(平成25年) 6月	光州商工会議所・仙台商工会議所友好協定の締結
2013年(平成25年) 7月	東北六県連「訪韓ミッション」実施。以降、東北六県連・宮城県連で毎年訪韓し風評払拭を訴える
2013年(平成25年) 10月	福島応援ツアー(原町・相馬)実施
2013年(平成25年) 10月	宮城県連「韓国光州広域市訪問ミッション」実施
2013年(平成25年) 10月	「今こそ！東北へ」外国語版制作
2013年(平成25年) 10月	※韓国語2000部、英語・繁体字各4000部(9月)
2013年(平成25年) 10月	東北六県連「訪韓ミッション」実施
2013年(平成25年) 10月	アメリカ・ロサンゼルスで東北の観光物産フェア「ライジングトウホクフードフェア」実施
2013年(平成25年) 10月	宮城県連「福島応援視察会」実施
2013年(平成25年) 10月	宮城県連「東日本大震災復興支援報告会」開催(名古屋)
2013年(平成25年) 10月	国連防災世界会議パブリックフォーラム開催(1200人参加)
2013年(平成25年) 10月	東北復興水産加工品展示商談会2015開催。震災後に開催された水産加工品の展示商談会では東北最大規模【写真⑧】
2013年(平成25年) 10月	「東北復興祭りパレードinミラノ万博」実施。ミラノ万博で東北の元気を全世界にアピール【写真⑨】
2013年(平成25年) 10月	アメリカ・ロサンゼルスで「第2回ライジングトウホクフードフェア」実施
2013年(平成25年) 10月	東北六県連「訪韓ミッション」実施
2013年(平成25年) 10月	宮城県連「福島応援ギフトセット」制作(協力：原町商工会議所)
2013年(平成25年) 10月	遊休機械無償マッチング支援プロジェクト休止。
2013年(平成25年) 10月	東日本大震災から5年
2016年(平成28年) 3月11日	当所では今後も、販路開拓などをはじめとした各種支援事業を展開してまいります。